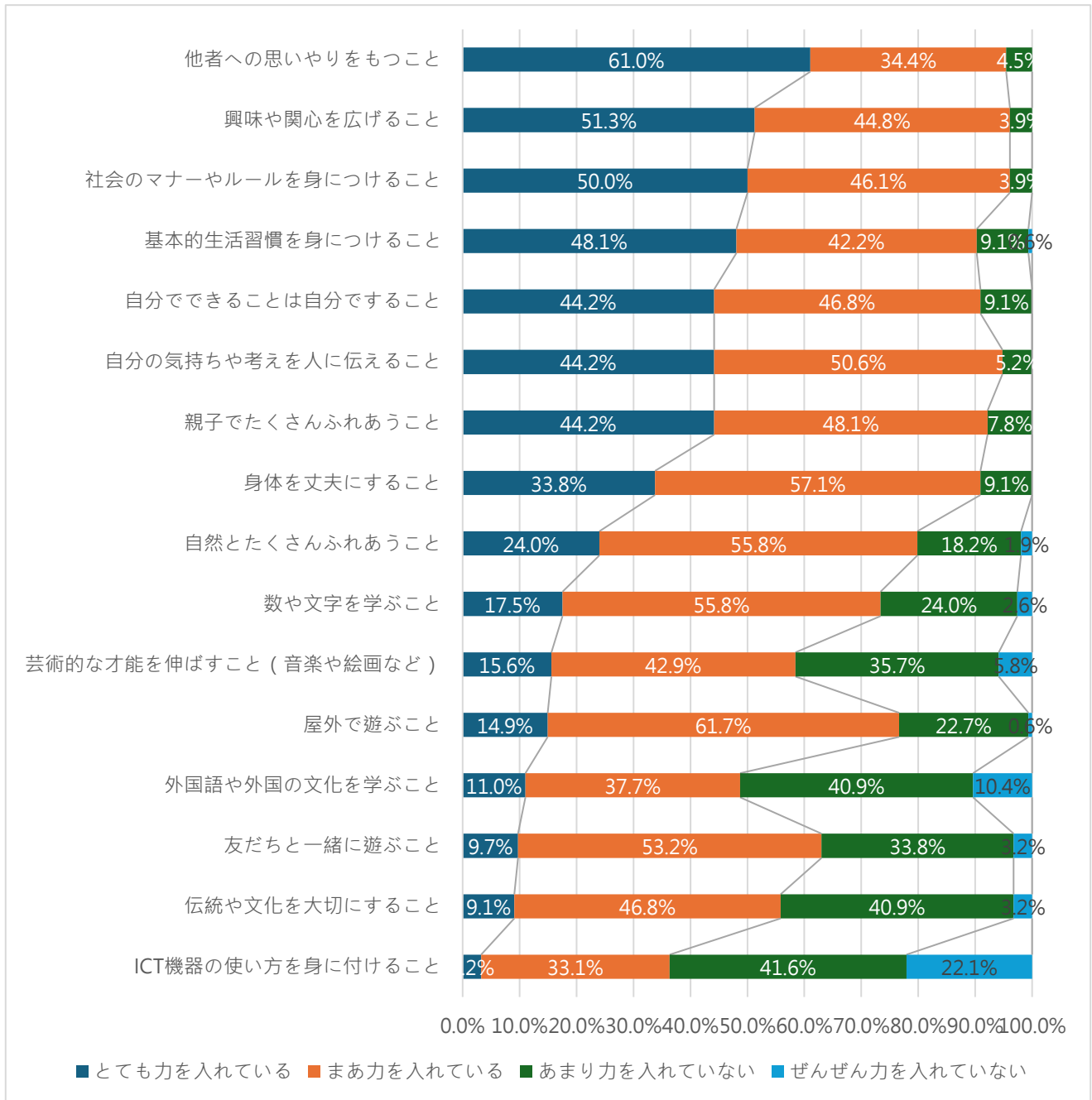


保護者が求めるものについて

◇保護者が園児に求めているもの



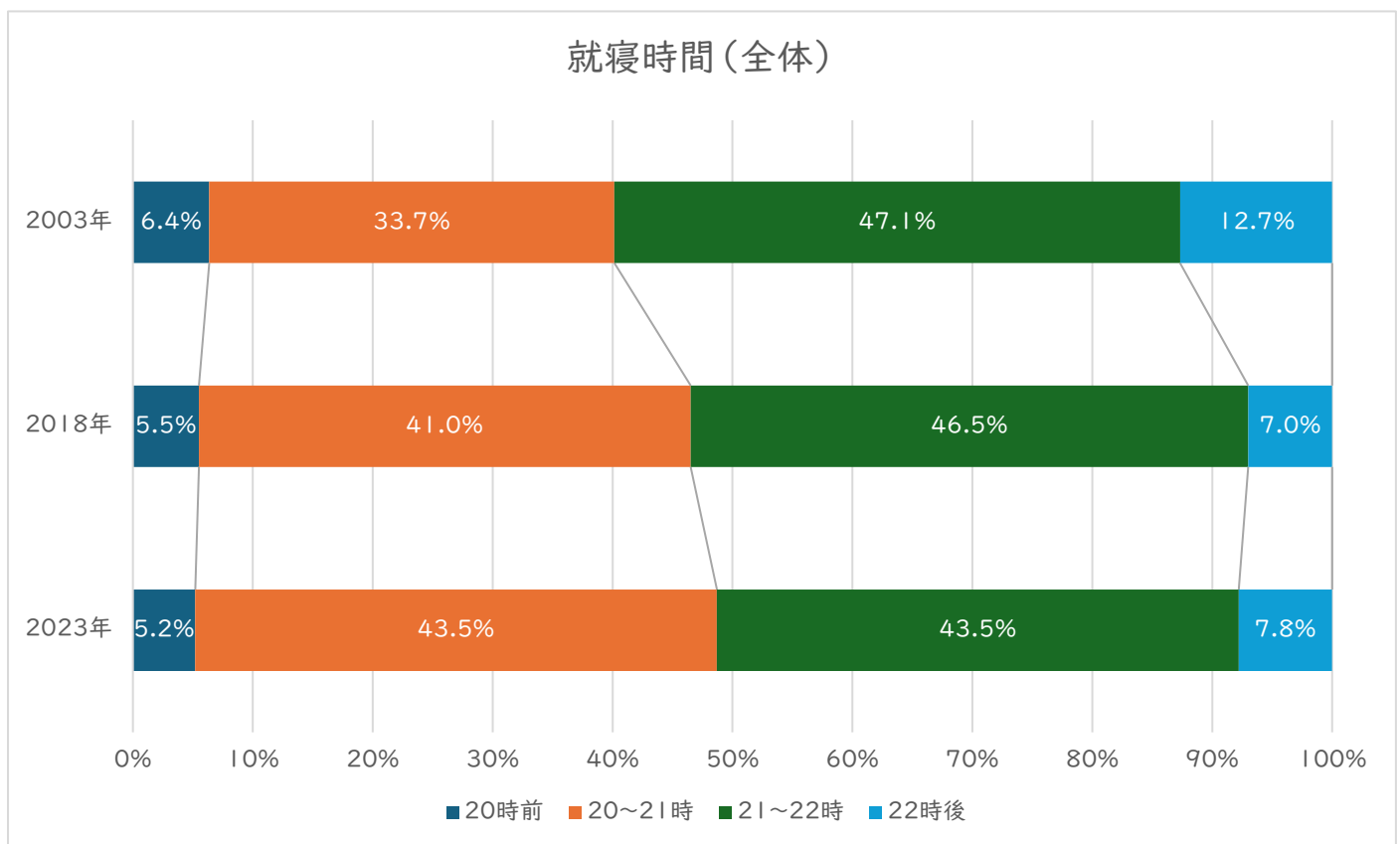
「他者への思いやりをもつこと」
 「社会のマナーやルールを身につけること」
 「基本的な生活習慣を身につけること」
 について、保護者は力を入れていることがわかります。

最も多く保護者が挙げたものは「おもしろい」で、これは子どもたちが他の人と良い関係づくりを築き、相手を思う心を育ててほしいという思いが強く表れていると考えられます。

次に「興味・関心」や「生活習慣」に力を入れている家庭が多く、子どもの主体的な学びや好奇心を大切にする姿勢、そして基本的な生活リズムや自立の力を育てたいという意識が高いことがわかります。



◇幼児の基本生活習慣のひとつ、就寝時間について

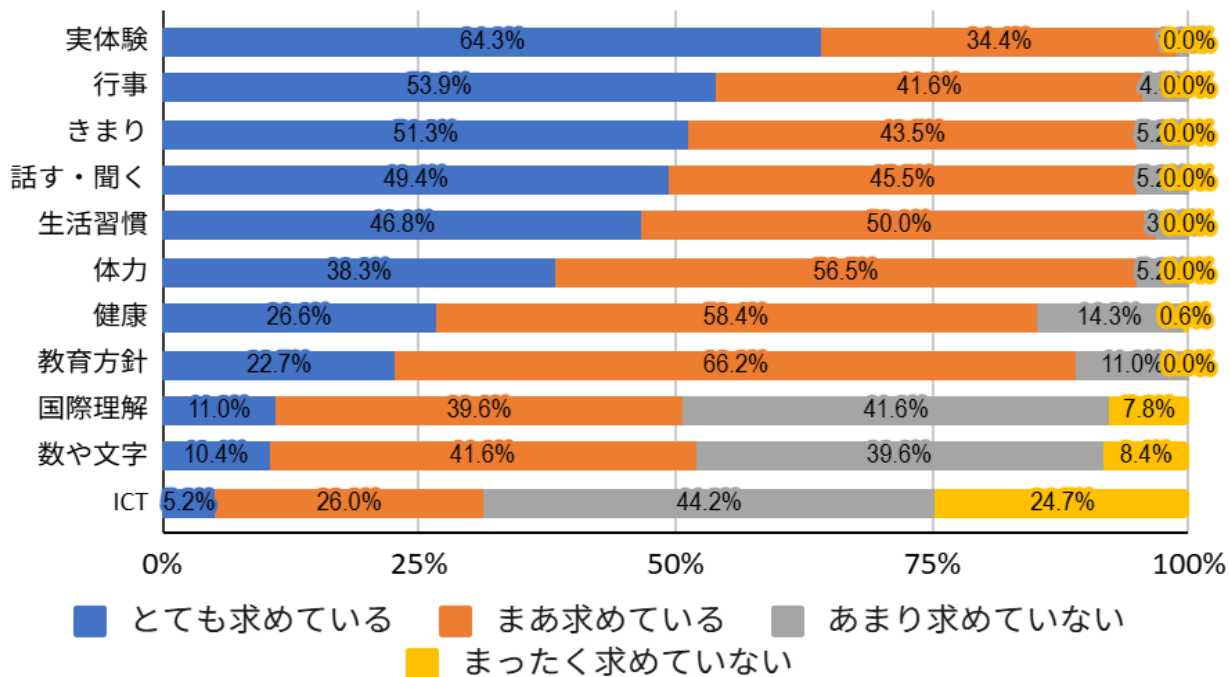


起床時間・就寝時間については2003年からあまり大きな変化は見られません。幼児は保護者が管理している為、大きな変化は表れにくいと考えられ、また、保護者の労働時間や働き方に変化があると考えられます。

幼児期は、睡眠時間の長さによって生活に大きく影響があります。十分な睡眠時間を取れることで、意欲的に行動したり、落ち着いて過ごしたり、生活リズムが整うことで子ども自身が安定して園生活を送る要因になることが考えられます。

そのため、生活リズムを整える為に保護者への働きかけが今後もより必要になってきます。





多く挙げたのは「実体験」で、家庭ではなかなかできない自然体験や社会体験など、五感を通した学びを経験させたいという願いがあることがうかがえます。次に「行事」や「話を聞くこと 話すこと」が挙げられています。このことから人とのコミュニケーション力が培われることを期待していると考えられます。



保育園や幼稚園の先生たちは保護者の要求を可能な限り受け止めていく環境を整えていくだけでなく、親子の関わりや基本的な生活習慣など、幼児期に大切にしていきたいものを丁寧に伝えていき、子ども達の健やかな成長発達を促していきたいと考えています。

※ 本ダイジェストは、実態調査データの一部を抜粋して作成しています。

※ 詳細な数値・分析は、『かまくらっ子の意識と実態調査 第12集』

(<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyouikuc/kamakurakko10.html>) をご覧ください。



(園職員作成)